

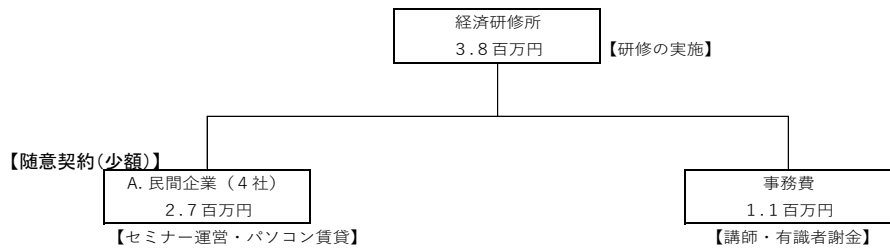
令和5年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

事業名	経済研修所運営に必要な経費			担当部局庁	経済社会総合研究所	作成責任者	
事業開始年度	平成12年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	経済研修所	田村 裕昭	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	内閣府本府組織規則第41・42条			関係する計画、通知等	令和5年度 経済研修所研修計画		
政策	18. 経済社会総合研究				主要経費	科学技術振興費、文教施設費	
施策	21. 経済社会総合研究の推進						
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hyouka/r4bunseki/r4bunseki-top.html						
事業の目的(5行程度以内)	経済研修所は、内閣府及び他省庁の職員を対象とした経済研修・経済理論研修を実施することにより、経済・社会活動の調査分析など職務上必要とされる知識や技能の習得・向上を図ること及び経済の重要問題についての分析能力を養うことを目的としている。						
現状・課題(5行程度以内)	政策立案過程において政策分析の結果をより一層反映させるため、職員(他省庁を含む)の政策分析能力の向上に対するニーズがますます高まっていることから、経済研修を実施している。また、政策分析の結果の政策立案への一層の反映は、政府全体として取り組むべき課題であり、優先度の高い事業である。						
事業概要(5行程度以内)	各府省の職員を対象に、業務に資する経済研修として、計量経済分析、経済理論等に関する経済研修を実施。また、当研究所が有する国民経済計算(SNA)統計等の概念、統計作成の実際について理解し、その推計方法の習得を目的とした研修を実施。さらに、経済社会活動の調査分析や、その結果の公表等に役立つ表計算ソフトの技能習得及び向上により、各所掌事務の効率化を図ることを目的としたExcel技能研修を実施。						
事業概要URL	https://www.esri.cao.go.jp/jp/esri/tie/tie_main.html						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	9.1	9.1	9	9	9
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	9.1	9.1	9	9	9
		執行額(G)	2.1	5.3	3.8	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	24%	59%	42%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	24%	59%	42%	-	-
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	(項)	経済社会総合研究所					
	(目)	試験研究費	6.6	6.6			
	(目)	諸謝金	2.1	2.1			
	(目)	委員等旅費	0.3	0.3			
	(目)	職員旅費	0	0			
	(目)	その他	0	0			
	計(A)	9	9				

<b>活動内容①</b> (アクティビティ)	各府省職員の業務遂行能力向上に資する計量経済分析、経済理論等に関する経済研修および当研究所が有する国民経済計算(SNA)統計等の概念、統計作成および推計方法習得を目的とした研修、経済社会活動の調査分析や、結果公表等に役立つ表計算ソフト技能習得により各所掌事務の効率化を図ることを目的としたExcel技能研修を実施する。							
↓								
<b>活動目標及び活動実績</b> ① (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	受講者の研修内容の習得/受講者ニーズを踏まえた研修内容の充実を図る。	経済研修、経済理論研修、技能研修	活動実績 コース	9	19	17	-	-
			当初見込み コース	16	16	18	18	18
↓ 成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	実施している研修が受講者にとって適切であるか測定するため、講義内容に対する総合評価を成果目標として設定した。実際に受講した者による匿名での評価のため、今後のコースの改廃の指標になると考えている。							
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>	受講者による講義内容に対する総合評価	研修終了時に受講者による講義内容に対する総合評価を測定(5段階評価中上位2段階評価をつけた受講者の割合)	成果実績 %	87.3	91.8	92.6	-	
			目標値 %	88	88	88	88.5	
			達成度 %	99.2	104.3	105.2	-	
	受講者による研修の評価(「講義の内容やレベルは適切であったか」、「配付されたレジュメや資料は適切であったか」、「講師の説明は適切であったか」、「現在あるいは将来の業務に役立つものであったか」といった設問とともに、総合評価を測定)							
↓ 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	実施している研修のレベルが受講者に適切であるか測定するため、習熟度確認テストの結果を設定した。受講者のレベルに合った内容にすることにより、事業の目的である「職務上必要とされる知識や技能の習得・向上及び分析能力を養う」ことにつながると考えている。							
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>	分析技能の習得・向上を図る研修での習熟度	研修終了時に受講者に対する習熟度確認テストの結果(10点満点中の受講者の平均点)	成果実績 点	-	9.4	9.3	-	
			目標値 点	8.3	8.3	8.3	8.3	
			達成度 %	-	113.3	112	-	
	「経済分析等に役立つExcel技能研修」における習熟度確認テストの結果。※基準値：平成28年度から令和元年度までの習熟度の平均値をもとに目標値を設定。※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。							
↓ 成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>	-	-	成果実績 -	-	-	-	-	
			目標値 -	-	-	-	-	
			達成度 %	-	-	-	-	
<b>アウトカム設定について の説明</b>	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由							
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由							



令和3年度	2021	府	20	0134														
令和4年度	2022	府	21	0132														



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	講師料、資料作成、テスト採点	1.8	人件費	講師謝金	0.5	
事業費	講義運営費	0.1				
計		1.9	計		0.5	

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	有限会社エス・エス・イー	5011302011019	Excel技能研修(前期・後期)	1.9	随意契約(少額)	-	--	
2	株式会社ビデオエイベックス	6120001069463	研修用パソコンの賃貸借料	0.5	随意契約(少額)	-	--	
3	リトルスタジオインク株式会社	5011001036960	EBPMオンライン研修動画の試験公開業務	0.3	随意契約(少額)	-	--	
4	株式会社電算システム	5200001003514	Google Workspaceライセンス	0	随意契約(少額)	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	講師A	-	経済理論研修「内閣府業務に役立つ経済政策論」	0.5	その他	-	--	
2	講師B	-	計量経済分析研修「計量経済分析入門」「時系列分析実習」	0.3	その他	-	--	
3	講師C	-	経済理論研修「マクロ経済学」	0.2	その他	-	--	
4	講師D	-	経済分析専門家育成プログラム「Rを用いた分析」	0.2	その他	-	--	
5	講師E	-	「アンケート調査入門」「標本調査入門」	0.1	その他	-	--	
6	講師F	-	講師謝金「GDPを学ぶ」「国民経済計算ステップアップ」	0.1	その他	-	--	
7	講師G	-	計量経済分析研修「パネル分析実習」	0.1	その他	-	--	
8	講師H	-	経済社会セミナー特別講演「高橋財政の真実・・・新たな成長を目指して」	0	その他	-	--	
9	講師I	-	内閣府人材育成プログラムにおける講演	0	その他	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	